

令和元年7月19日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和元年7月19日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに196件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、12,470件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	196件 29都道府県58市町村(区)	12,470件 47都道府県945市町村(区)

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	48	65	24	59	196
累 計	2,227	3,979	2,547	3,717	12,470

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	2	37	23	1	2	0	0	14	66	47	3	1	196
累計	116	1,271	1,563	504	224	376	335	384	5,605	1,803	208	81	12,470

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	162	3	31	196
累 計	9,839	640	1,991	12,470

2. 今回の答申における主なもの

① 現存最古の現役観覧車

函館公園はこだてこうえんこどものくにくうちゅうかんらんしゃ空中観覧車はこだてし 北海道函館市

登録記念物である函館公園内の遊園地「こどものくに」にある観覧車。昭和25年に大沼公園おおぬまに設置し、昭和40年に現在地に移設した。2本の支柱間に、山形鋼やまがたこうで構成した直径8メートルの八角形ホイールを取り付け、日本では珍しい長椅子型のゴンドラを8台吊り下げる。国内で現役稼働中の観覧車の中でも最古のものであり、函館公園の象徴的存在として親しまれている。



② 草創期の都市型住宅団地

旧赤羽台団地きゅうあかばねだいたんち42号棟など4件 東京都北区

赤羽台団地はJR赤羽駅の西側にある旧日本住宅公団による住宅団地で、東京23区内初の1,000戸を超える大規模開発により整備した。42号棟から44号棟は、昭和37年に建設された鉄筋コンクリート造5階建ての住棟てっしんで、スターハウスと呼ばれるY字形の平面形状をなす。住棟の配置計画に工夫を凝らした変化のある景観を生み出しており、板状住棟の41号棟と共に、旧日本住宅公団初期における大規模都市型団地の様相を知る上で重要。



撮影：独立行政法人都市再生機構

③ 港湾施設の隆盛を支えたマンモスクレーン

旧伏木港きゅうふしきこう右岸三号岸壁かんべきすいへいひきこみしき水平引込式クレーン 富山県射水市いみずし

富山湾内小矢部川河口の伏木港にある、船の貨物積み降ろし用クレーン。昭和43年に富山県が設置し、海上輸送に伴う港湾作業の効率化に大きく貢献した。ダブルリンク式の水平引込み式クレーンで、設置当時には日本海沿岸で最大規模を誇った。伏木港において堂々たる港湾景観を形成し、高度経済成長期における地方港湾の様相を伝えている。



④ ^{なぬし せきもり}名主や堰守などの要職を務めた^{ごうのう}豪農の住宅
^{こさか けいじゅうたくしゅおく}小坂家住宅主屋など8件 ^{ながの し}長野県長野市

千曲川左岸にある江戸時代には名主を務めた農家の住宅。主屋は敷地中央に南面して建つ寄棟造り茅葺きで、棟に茅葺きの越屋根を載せる。内部は土間回りに重厚な柱や梁を現し、座敷の床などの造作も良好に保存している。北信地方の民家の特徴を示す大型住宅。敷地東辺の前面道路に沿って長屋門や味噌蔵などが建ち並び、周囲には土塀を廻らすなど、豪農の屋敷構えを今に伝える。



提供：長野市教育委員会

⑤ ^{しまねけんちょうしゃぎじどう}モダニズム建築の先駆的存在たる県庁舎
^{まつ え し}島根県庁舎議事堂など2件 ^{まつ え し}島根県松江市

松江城三の丸跡地にある県庁舎。昭和31年に先代の木造庁舎が焼失し、昭和34年に再建した。昭和31年の「官公庁施設の建設等に関する法律」の改正により、国の受託設計第一号となった地方公共団体の庁舎。設計担当は島根県出身で建設省宮繕局の安田臣。議事堂は庇により水平線を強調した外観で、2階バルコニー中央の縦ルーバーで正面意匠にアクセントを加える。地方におけるモダニズム建築の好例。



撮影：SATO PHOTO

⑥ ^{しんごんしゅう}江戸前期からの歴史を刻む真言宗寺院本堂
^{じっさい しほんどう}実際寺本堂など6件 ^{くらしきし}岡山県倉敷市

市街西方の旧中島村中心部にある真言宗寺院で、石垣で築いた方形の寺地に諸堂が建ち並ぶ。本堂は慶安2年（1649）の建立で、境内西辺中央に東面して建つ。正面三間、側面二間、入母屋造り本瓦葺きで、正面と南側面に切目縁を廻らし、縁の外に軒支柱を立て、身舎柱筋大斗上の海老虹梁で縁桁と繋ぐ。面取りの大きい角柱、木鼻や実肘木の渦など、江戸前期らしい特徴を示している。



提供：倉敷市教育委員会

<担当> 文化庁文化財第二課 電話：03-5253-4111（代表）
 課長 岡本 任弘（内線 2873）
 課長補佐 田井 祐子（内線 3025）
 登録部門 江島 祐輔，福田 剛史，坂本 萌（内線 2797）
 審議会係 小島 学，森 弓乃（内線 3160）

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準
1	函館公園こどものくに空中観覧車	北海道函館市	S25/S40移設	函館公園内の遊園地「こどものくに」にある観覧車。昭和25年に現在は国定公園となっている大沼(おおぬま)公園に建設し、昭和40年に現在地に移設した。八角形のホイールに、日本では珍しい2人乗りの長椅子型ゴンドラが8台付く。現役で稼働する現存最古の観覧車で、函館公園の象徴的存在。	その他 工作物	その他 2
2	網走市立郷土博物館本館	北海道網走市	S11/S60改修	フランク・ロイド・ライトの弟子で、建築家田上義也(たのうえよしや)の設計。本館は昭和11年建築の道内最初期の郷土博物館。木造2階建て、左右対称平面の中央を南北に張り出し、正面に円弧状のアーチをみせる、独創的な意匠の文化施設。昭和36年に本館の東側に増築した新館は、木造2階建て、矩形(くけい)平面で屋根は片流れ。立面は本館との連続性を考慮しつつ、壁面の切り込みなどの彫塑(ちょうそ)的表現に、田上の戦後の作風を見せる。	建築物	文化福祉 2
3	網走市立郷土博物館新館		S36		建築物	文化福祉 2
4	大野家住宅主屋(旧大野組事務所兼主屋)	北海道士別市	S2/S13頃増築	かつて士別屯田兵(とんでんへい)村と呼ばれた地区に建設した、代々建設業を営む旧家の住宅。主屋は昭和2年建築で、敷地西側中央に西面して建つ、木造平屋建てで、内部には応接室などの洋室を配す。和風民家への洋室導入の有り様を伝える上質な建物。	建築物	産業2次 2
5	幌泉(ほろいずみ)灯台記念塔	北海道えりも町(ちょう)	S3/S53移築	昭和3年に灯台山山頂に建築した灯台。四角柱の外観で、屋上の灯火部に鉄枠の窓を穿(うが)つ。我が国の鉄筋コンクリート造灯台の初期の形式をよく残す。	その他 工作物	交通 2
6	後藤伯記念公民館	岩手県奥州市	S16/S32増築、同62改修	水沢の旧城下に位置する昭和16年建築の公民館。主に本館と柔剣道場からなり、本館は正面の大きな切妻(きりづま)屋根の妻壁をハーフティンバー風に飾り、前面に車寄せを突き出す。大小の切妻屋根が重層した風格あるつくり。後藤新平に恩義を受けた正力松太郎が、道徳顕彰事業を計画し、日本初の公民館として建てたと伝わる。	建築物	文化福祉 1
7	四山楼(しさんろう)主屋	山形県山形市	M44/S33改修	山形市の繁華街に位置する料亭。「四山楼」名は明治12年に伊藤博文が命名したと伝わる。木造2階建て寄棟(よせむね)造りの主屋は明治44年建築で、1階中央に設けた洋風意匠のホールの両側に客室を配し、2階は大振りの床(とこ)や舞台を備えた大広間とする。主屋の東側に建つ蔵座敷は、土蔵造り2階建て切妻造りで、1階の座敷は床に銘木を用い天井には格天井(ごうてんじょう)を張り、庭側は黒漆喰(くろじっくい)塗りの掛け子(かけご)塗り土戸(つちど)で重厚に見せる。近代山形の繁栄を伝える上質な料亭。	建築物	産業3次 1
8	四山楼蔵座敷		M24		建築物	産業3次 1
9	福西本店店蔵	福島県会津若松市	T3頃/S60代・H28改修	会津五街道の起点として栄えた大町通り沿いに位置する大型の商家。通りに西面して建つ店蔵は、土蔵造り2階建て、外壁は黒漆喰塗り、1階は下屋(げや)境にイオニア式円柱を立て、上がり框(かまち)は隅を円弧とし、木部は透き漆(うるし)塗りとする。重厚な外観と美しい内装の店蔵。通りに面し店蔵の北に建つ袖蔵は土蔵造り2階建てで、切妻屋根の妻面を通りに向ける。外壁は黒漆喰塗りで店蔵とともに街路景観を形成している。主屋は店蔵の東に続く、上質な造作(ぞうさく)の住まい。座敷蔵は敷地北側中央に建ち、木部は透き漆塗りで華やかな造作の座敷蔵。主屋蔵は主屋東寄りに取り込まれるように建ち、長大な母屋、棟木など豪壮な小屋組みを見せる。主屋の東に接続する離座敷は、丁寧な造作で数寄屋(すきや)風の意匠を取り入れる。敷地の北側、袖蔵と座敷蔵の間を隣地と仕切る煉瓦塀は、延焼に備えつつ、敷地北面の景観を整える。	建築物	産業2次 2
10	福西本店袖蔵		M19/H28改修		建築物	産業2次 1
11	福西本店主屋		T4頃/H28改修		建築物	産業2次 2
12	福西本店座敷蔵		M19/H28改修		建築物	産業2次 2
13	福西本店主屋蔵		M19/H28改修		建築物	産業2次 2
14	福西本店離座敷		S5頃/H28改修		建築物	産業2次 2
15	福西本店煉瓦塀(れんがべい)		T4頃		その他 工作物	産業2次 1

	名 称	所在地	建設年代	特徴など	種 別	基準	
16	竹藤(たけとう)店舗	福島県会津若松市	天保12(1841)/S45改修	会津若松市内中心部で代々竹問屋を営んだ商家。天保12年(1841)建築の店舗は、街路に南面して建ち、間口7間と大規模で、正面に下屋を付す。1階下屋正面は1間幅の腰高障子を立て、下屋境は全面摺(すり)り上げ戸とするなど、古い店舗形式を残す。主屋は店舗の北背面に接続し、西に3室を並べ東に廊下を通す当地方の典型的な平面。竹蔵は敷地の北西に建つ桁行7間の土蔵で、竹材の保管や加工に使用。座敷蔵は敷地の北東に建ち、1階は南から前室、次の間、座敷が並び、2階は家財蔵とする。	建築物	産業3次	1
17	竹藤主屋		M前期		建築物	産業3次	2
18	竹藤竹蔵		天明5(1785)/文久2(1862)移築、S60頃改修		建築物	産業3次	2
19	竹藤座敷蔵		文政6(1823)/S58・同60頃改修		建築物	産業3次	1
20	仙峡閣	福島県会津若松市	S13/S30移築	会津若松市南郊の芦ノ牧温泉にある、元武徳殿を転用した温泉旅館。福島市内に昭和13年に建てた武徳殿を同30年に移築、拡張して温泉旅館に転用。武徳殿の定型をよく示し、大胆な転用の経緯と勇壮な外観をもつ旅館建築。	建築物	文化福祉	2
21	旧熊倉家住宅主屋	福島県伊達市	S前期	伊達市梁川町(やながわまち)の中心部に建つ個人住宅。主屋は鉄筋コンクリート造2階建てで、ドイツ壁仕上げの簡素な外観のうち、玄関とベランダを洋風意匠で装飾。地方における洋風意匠の展開の一端を示す。土蔵は主屋の東背面に建つ、土蔵造り2階建ての蔵。地方有力者の屋敷構えを引き立てる。現在は市の所有で、今後公開に向けて整備予定。	建築物	住宅	3
22	旧熊倉家住宅土蔵		E末期		建築物	住宅	1
23	石田家住宅主屋	福島県大熊町	E末期/S33頃改修、同45頃増築	大熊町中央の山裾に位置し、旧大野村村長を輩出した旧家。主屋は敷地奥中央に南面して建つ。入母屋(いりもや)造り棧瓦(さんがわら)葺きの屋根は当初茅(かや)葺きで、浜通りの上層農家の様相を伝える。土蔵は主屋の西寄り前方に建ち、土蔵造り2階建て、置屋根(おきやね)形式の切妻造り棧瓦葺き。土蔵は主屋の西側に建ち、木造平屋建て切妻造り金属板葺きの板倉で、粃米を貯蔵していた。表門は敷地南面中央にあり、水路に架かる石橋を覆うように建つ。土蔵、土蔵蔵、門とも農家の屋敷構えを形成。福島第一原発事故による避難指示後無住。平成31年4月の避難指示解除後、町が保存活用計画を策定中。	建築物	住宅	1
24	石田家住宅土蔵		M前期/H元頃改修		建築物	住宅	1
25	石田家住宅土蔵		S前期/H18改修		建築物	住宅	1
26	石田家住宅門		M中期/H18改修		その他 工作物	住宅	1
27	寺岡糸店店舗	栃木県佐野市	S8	佐野市街地中心部にある商家。昭和8年建築の店舗は、街道に南面して建つ、寄棟造り棧瓦葺きで、正面に下屋を付し、背面にコの字形の居住部が接続し、重厚な街路景観を形成。主屋は店舗後部の西側に接続して建つ、木造2階建て寄棟造り棧瓦葺き、南面東寄りに入母屋造りの玄関を構え、屋敷景観を形成。文庫蔵は主屋北西に接続して建つ、土蔵造り2階建て、切妻造り棧瓦葺きで、外壁は人造石洗い出し仕上げで石積み風に仕上げ、敷地西側の屋敷構えの一角を成す。石蔵は敷地北側中央に南面して建ち、石造平屋建て、切妻造り棧瓦葺きで、外部は大谷石(おおやいし)積み。糸問屋の歴史を伝える原糸貯蔵用の蔵。大門は、店舗東側に建つ資材搬入に用いた門。店舗と調和した街路景観を形成。	建築物	産業3次	1
28	寺岡糸店主屋		S8		建築物	産業3次	1
29	寺岡糸店文庫蔵		M7/S8頃改修		建築物	産業3次	1
30	寺岡糸店石蔵		T8		建築物	産業3次	1
31	寺岡糸店大門(おおもん)		S9		その他 工作物	産業3次	1
32	乃木神社本殿	栃木県那須塩原市	T4/S12改修	那須塩原市城南東にある乃木希典(のぎまれすけ)夫妻を祀(まつ)る神社。本殿は敷地北奥に南面して建つ、切妻造り妻入り銅板葺きで、近代らしい自由な構成の社殿。拝殿は、背面の本殿との間に幣殿(へいでん)を置き、南面して建つ、切妻造り平入り銅板葺き。静謐(せいひつ)な社頭(しゃとう)景観を演出。本殿、拝殿とも、設計は栃木県技師の大江新太郎で、大正4年建立。	建築物	宗教	2
33	乃木神社拝殿		T4/S12改修		建築物	宗教	1
34	齋藤家住宅主屋	埼玉県伊奈町	E末期/S57改修	江戸時代に名主(なぬし)を務めた農家。主屋は旧往還(おうかん)西側の短冊状敷地に東面して建つ、寄棟造り平入り茅葺き金属板葺きで、六間取りの床上部は、表列上手(かみて)のオクノマを主座敷とし、床などを備えて長押を廻(めぐ)らし、他は差鴨居(さしがもい)などで柱を固める。近世の農村景観を伝える農家建築。	建築物	住宅	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準	
35	旧今井家住宅主屋	千葉県佐倉市	M中期/M後期改修	旧佐倉城下の町人地に位置する元呉服店。主屋は新町通りに南面して建ち、妻入りで正面を寄棟造りとして深い下屋を付す。前面のミセは前土間とし、通り土間を持たず床上部から後方の居住部に続く平面とする。佐倉の商家の佇(たたず)まいを良く伝える。座敷棟は主屋の背面に接続して建ち、6畳の主室には床と違い棚を設け、天井も幅広の板をふんだんに使うなど上質なつくり。土蔵は南北に長い敷地の中ほどに建ち、土戸は丁寧な掛け子塗り仕上げで、高い左官技術が伺える。鬼瓦には影盛(かげもり)を施し、地域的な特色を見せる。平成30年に市有化。	建築物	産業3次	1
36	旧今井家住宅座敷棟		M後期		建築物	産業3次	2
37	旧今井家住宅土蔵		M25/H23改修		建築物	産業3次	1
38	旧赤羽台団地四一号棟	東京都北区	S37	JR赤羽駅の西側にある旧日本住宅公団の団地。赤羽台団地の整備は、東京23区内で初めて1,000戸を超える大規模開発であった。各住棟は昭和37年に建設した鉄筋コンクリート造5階建てで、42号棟から44号棟は、スターハウスと呼ばれるY字形の平面形状。住棟の配置計画に工夫を凝らし、変化のある景観を生み出すなど、板状住棟の41号棟と共に、日本住宅公団初期における大規模都市型団地の様相を知る上で重要。公団住宅初期の住棟がまとまって残るのは希少で、今後集合住宅の歴史を学ぶ情報発信施設として活用を検討中。	建築物	住宅	2
39	旧赤羽台団地四二号棟		S37		建築物	住宅	2
40	旧赤羽台団地四三号棟		S37		建築物	住宅	2
41	旧赤羽台団地四四号棟		S37		建築物	住宅	2
42	稲荷湯浴場兼主屋	東京都北区	S5/S33増築	JR板橋駅東方の住宅地で通りに北面する銭湯。昭和5年建築の浴場兼主屋は、北半を浴場、南半を主屋とし、浴場正面に入母屋造りの玄関部を構える。破風が三段に連なる正面意匠など、戦前の東京における銭湯の様相を伝える。長屋は浴場兼主屋の東側に東面して建つ、木造平屋建て金属板葺き、一棟二戸の長屋で、従業員の住居であった。銭湯の職住一体経営の様相を伝える。	建築物	文化福祉	2
43	稲荷湯長屋		S2/S5頃移築		建築物	文化福祉	1
44	旧原家住宅稲荷社	神奈川県川崎市	M後期/H27移築	中原(なかはら)街道に面する旧家。稲荷社は屋敷地南寄りの覆屋(おおいや)内に北面して建ち、一間社流(いっけんしゃながれ)造り銅板葺きで、正面に軒唐破風(のきからはふ)を付す。小規模ながら上質なつくりの社殿。表門は敷地南面中央に建つ一間薬医門(いっけんやくいもん)。簡素ながら良質なケヤキ材を用いており、旧家の屋敷構えの一端を伝える。主屋は川崎市立日本民家園に移築した。	建築物	住宅	2
45	旧原家住宅表門		M後期/H4移築		その他 工作物	住宅	1
46	旧吉原(よしわら)家別邸主屋	神奈川県鎌倉市	S8頃/H5改修	鎌倉駅西方の住宅地に北面して建ち、屋根は寄棟造りスレート葺きで、庭側に半円平面のサンルームを張り出す。昭和初期に東京の実業家が郊外住宅地に建てた別荘建築。	建築物	住宅	2
47	旧田島屋材木店(古民家スタジオ・イシワタリ)主屋	神奈川県鎌倉市	S2/S30代増築	鎌倉市由比ガ浜(ゆいがはま)通りに位置する元材木店。関東大震災で被災し、昭和2年に再建した主屋は、通りの北側敷地に建つ木造2階建てで、材木商の建築らしく軸部堅牢(けんろう)で良材を多用する。変容著しい長谷周辺において昭和初期の様相を伝える希少な遺構。門及び塀は、敷地南側東端に開く門と左右袖塀、敷地西側まで折曲がりに延びる塀からなる。瀟洒(しょうしゃ)な屋敷構えを創る門及び塀。現在は写真スタジオや貸しスペースとして活用。	建築物	産業3次	1
48	旧田島屋材木店(古民家スタジオ・イシワタリ)門及び塀		S2		その他 工作物	産業3次	1
49	旧長谷川家住宅主屋	神奈川県三浦市	S5	長谷川家は旧三戸(みと)村戸長を輩出した旧家で、主屋は敷地北寄りに南面して建ち、周囲に下屋を廻らし正面中央に入母屋造りの玄関を張り出す。東に連なる離れは瀟洒な数寄屋として趣を変える。三浦半島沿岸部の良質な昭和初期住宅。石蔵は、主屋南東に南北棟で建つ。当初は土蔵造だが、後の改修で柱の外側に切り石を積み、石造風に仕上げる。戸口廻(まわり)の持送(もちおくり)も技巧的で、地域の技術的な特徴を備える旧家の蔵。庭門及び内塀は、主屋玄関の南東隅柱と石蔵の下屋柱の間に建つ庭門と左右の内塀。庭門は丸太材を使用した数寄屋風のつくりで、内塀は庭門と調和した繊細な意匠でまとめる。現在は貸スペースなどに活用。	建築物	住宅	2
50	旧長谷川家住宅石蔵		M中期/S前期改修		建築物	住宅	1
51	旧長谷川家住宅庭門及び内塀		S5		その他 工作物	住宅	1

	名 称	所在地	建設年代	特徴など	種 別	基準	
52	高須家住宅主屋	新潟県新潟市	M中期/M後期増築	信濃川河口近くの上大川前(かみおおかわまえ)通りに東面して建つ、米の売買で財をなした商家の住宅。主屋の正面側は、木造2階建て切妻造り平入りで、背後に切妻造り平屋建ての東西棟を延ばす。土蔵は、主屋の背後に東西棟で建つ、土蔵造り2階建てで、全体を覆屋で囲い、屋根は一体で掛ける。商家の屋敷構えを伝える。	建築物	住宅	1
53	高須家住宅土蔵		M中期		建築物	住宅	1
54	栃ヶ原地すべり第一号集水井 (しゅうすいせい)	新潟県柏崎市	S30	柏崎市南東端の丘陵地に位置する。第一号集水井は外径4.0m、深さ18mの鉄筋コンクリート造井筒(いづつ)。井筒壁面の横孔(よこあな)から地下水を集水し、第二号集水井のみ現在でも、集水した水を揚水して、周囲の水田で利用している。地すべりをもたらず深層地下水の上昇を防ぐために開発し、国土保全と農業水利の機能を兼ね備えた戦後土木施設で、第一号集水井はわが国初の集水井。設計担当は新潟県技師湊元光春(つもとみつはる)。第二号集水井と第三号集水井は、第一号集水井の付近に10年後の昭和40年に建設した鉄筋コンクリート造の井筒。いずれも集水井の初期の事例。	土木構造物	治山治水	2
55	栃ヶ原地すべり第二号集水井		S40		土木構造物	治山治水	1
56	栃ヶ原地すべり第三号集水井		S40		土木構造物	治山治水	1
57	長願寺本堂	新潟県新発田市	寛延3(1750)/T2改修	新発田市の南西にある浄土真宗大谷派寺院。境内中央に南面して建つ寛延3年(1750)建立の本堂は、入母屋造り棧瓦葺きで、正面に三間幅の一間向拝(ごはい)を付す。余間の背後に法衣(ほうえ)の間を設け、東の余間脇に堂座敷を張り出すなど、真宗本堂の典型に沿いつつ特異な形式を備える。	建築物	宗教	2
58	旧村山家別邸(苔香荘(たいこうそう)苔松庵(たいしょうあん))	新潟県新発田市	M前期/S42改修	旧村山家別邸は、新発田城跡南東に位置する元商家の別邸。寄棟造り棧瓦葺きで、L字形平面の周囲に縁を廻らし、庭園に向けた開放的なつくりで、迎賓用に相応しい瀟洒な建物。旧武者家別邸は、北側正面に入母屋造りの玄関を付した平屋建ての南西に、2階建てを雁行(がんこう)して増築し、座敷の周囲に縁を廻らす。上質なつくりの迎賓用の別邸。いずれも苔香荘として今後公開の予定。	建築物	住宅	2
59	旧武者家別邸(苔香荘武者亭)		M中期/T14増築、H21移築		建築物	住宅	2
60	旧西脇家住宅主屋	新潟県小千谷市	明和7(1770)/S54改修	小千谷市街地に建つ豪商の住宅。主屋は通りに南面して建ち、木造平屋建て、切妻造り妻入り金属板葺きで、内部は東側を通り土間とし、床上部は東西2列に部屋を並べる。明和7年(1770)の建築であるが、昭和54年の前面道路拡幅により正面側2間半が切断された。離座敷は大正7年の建築で、主屋の北側に渡り廊下を介して建つ。上下階ともに上段と次の間を並べ、畳廊下を廻して庭への眺望を得る。曾禰達蔵(そねたつぞう)と中條精一郎(ちゅうじょうせいいちろう)の設計による、良材をふんだんに用いた意匠優秀な離座敷。	建築物	住宅	2
61	旧西脇家住宅離座敷		T7		建築物	住宅	1
62	浄善寺本堂	新潟県上越市	S3/H5改修	上越市街地に位置する浄土真宗本願寺派寺院。本堂は桁行27.1mの規模で、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て。明治30年の大火で本堂が全焼したため、耐火性能なども考慮し、昭和3年に当時の先端技術であるSRC造(鉄骨鉄筋コンクリート造)で再建した。平面は内外陣、余間などからなる真宗本堂の典型を示す。インド風を基調とし、独創的な内外観を実現した本堂。	建築物	宗教	1
63	旧五十嵐(いからし)家住宅主屋	新潟県阿賀野市	M前期/M20増築	阿賀野市街東方の田園地帯に位置する元地主の住宅。主屋は、敷地東寄りに南面して建ち、正面に式台玄関を設け、内部に茶の間や座敷を備え、内外ともに優秀な意匠。門は主屋の南方に位置する一間一戸薬医門。主屋のみ売却し、現在は飲食店として活用。	建築物	住宅	2
64	五十嵐家住宅門		M中期		その他 工作物	住宅	1
65	旧伊藤家住宅土蔵	新潟県胎内市	M39	伊藤家は近世に大庄屋を務め、近代に村長を輩出した名家。桁行6間の土蔵は、土蔵造り2階建てで、1階外壁を海鼠壁(なまこかべ)とする。米土蔵は土蔵造り2階建てで、広大な内部の米蔵。作業場は木造2階建て、切妻造り棧瓦葺きで、1階に農機具や米などを保管し、2階で米の選別、俵の製作などを行ったという。現在は広大な宅地の内、土蔵、米土蔵、作業場がある東半を市が、西半を伊藤家が所有する。西側の宅地には主屋があったが、昭和61年に焼失した。	建築物	住宅	1
66	旧伊藤家住宅米土蔵		E末期		建築物	住宅	1
67	旧伊藤家住宅作業場		S28		建築物	住宅	1

	名 称	所在地	建設年代	特徴など	種 別		基準
68	大輪寺本堂	新潟県胎内市	M16	米沢街道沿いの市街地に境内を占める曹洞宗(そうとうしゅう)寺院。明治16年建立の本堂は、境内中軸 北寄りに南面して建つ、六間取りの方丈形式。正面広縁はもとは前半を土間とした。要所に彫刻欄間 (らんま)を嵌(は)め、須弥壇(しゅみだん)回りのみ円柱とし、出組(でぐみ)を組んで荘厳(そうごん)する。大正9年建立の庫裏は、本堂の東側に軒唐破風付きの表玄関を経て接続する。建ちの高い近代的な 禅院庫裏。安政4年(1857)建立の経蔵は、境内南東に西面して建つ。置屋根形式の平屋建てで、正面に 向拝を付け、内部は一室とし、東に仏壇を設ける。隣地の家財蔵を曳家(ひきや)した土蔵は、庫裏の南 方に建ち、小庇(こびさし)を鶴亀の鍔絵(こてえ)で装飾する。文久3年(1863)建立の山門は、境内中 軸の中央に建つ、2階建て鐘楼門(しょうろうもん)で、大工の高い技量が伺える。総門は、米沢街道に 面した境内南辺中央に開く四脚門(しきゃくもん)。山門、本堂と直線に並び、境内の中軸を成し、境内 の正面を飾るに相応しい門である。	建築物	宗教	1
69	大輪寺庫裏		T9/H15改修		建築物	宗教	1
70	大輪寺経蔵		安政4(1857)/S15・H15改修		建築物	宗教	2
71	大輪寺土蔵		S3/S61移築		建築物	宗教	2
72	大輪寺山門		文久3(1863)/S31改修		建築物	宗教	2
73	大輪寺総門	嘉永5(1852)頃/S37改修	その他 工作物	宗教	1		
74	荒川神社本殿	新潟県胎内市	天保12(1841)/S46改修	本殿は天保12年(1841)建立で、北前船で栄えた桃崎浜高台の境内奥に西面して建つ。建ちの高い一間社 流造り、茅葺き形銅板葺きで、大瓶束(たいへいづか)の笈形(おいがた)や虹梁(こうりょう)絵様(えよ う)、虹梁上彫刻など、装飾豊かな社殿で北前船交易の繁栄を伝える。同じく天保12年建立の拝殿及び 幣殿は、本殿前面に接続する入母屋造り茅葺き形銅板葺きで、規模の大きな拝殿の後方に幣殿を張り出 し、重厚な軸部と装飾的細部をもつ。	建築物	宗教	2
75	荒川神社拝殿及び幣殿		天保12(1841)/S46改修		建築物	宗教	2
76	三浦家住宅主屋	新潟県胎内市	M19	主屋は切妻造り平屋建てで、外壁の大半を簷子下見板(ささらこしたみいた)張りとする。居室は三列構 成で、上手に次の間、上段の間などを配す。室内造作も良質で洗練され、廻船主(かいせんしゅ)住宅の 一例を示す。三浦家は廻船業で財をなし、荒川神社社殿の造営にも大きく寄与。	建築物	住宅	2
77	松坂家住宅主屋	新潟県関川村	E末期/S30頃改修	当家は、江戸時代に番所の役を担った松坂家の二代目の分家で、粗頭を務め、近代に村長を輩出。主屋 は、西面する大型の切妻造りで、南寄りの土間前面に中門を張り出す。座敷前に小玄関と床付きの6畳 を設ける点は特異で中門造民家の一例を示す。文庫土蔵は、主屋北西側に東西棟で建つ。土蔵造り2階 建て、置屋根形式で、小屋は垂木(たるき)小屋組である。歴史的集落景観に寄与する土蔵。	建築物	住宅	1
78	松坂家住宅文庫土蔵		M45		建築物	住宅	1
79	旧伏木港右岸三号岸壁水平引込式 クレーン	富山県射水(い みず)市	S43	富山湾内小矢部川河口の伏木港にある、船の貨物を積み降ろしするための水平引込式クレーン。昭和43 年に富山県が設置し、海上輸送に伴う港湾作業の効率化に大きく貢献。新たに伏木外港が整備され、平 成26年にクレーンとしての役割を終えた。伏木港の景観を形成し、高度経済成長期における地方港湾の 様相を伝える。	その他 工作物	産業2次	1
80	丸藤葡萄酒工業旧醸造蔵	山梨県甲州市	M前期/T後期増築	甲州市勝沼町に位置する明治23年創業のワイン醸造所。旧醸造蔵は、敷地中央に南面して建つ、土蔵造 り2階建て、屋根は置屋根形式とし、北面の増築部分にかけて葺き下ろす。ワイン醸造の中心施設の一 つ。瓶貯蔵庫は、敷地東辺に沿って建つ、鉄筋コンクリート造の元ワイン発酵用の貯蔵タンクで、現在 は瓶貯蔵庫。当時の醸造過程を伝える希少な遺例。	建築物	産業2次	1
81	丸藤葡萄酒工業瓶貯蔵庫		S33/S35増築・H6改修		その他 工作物	産業2次	1
82	勝沼醸造主屋兼事務所	山梨県甲州市	M後期	甲州市勝沼町に位置する昭和12年創業のワイン醸造所。主屋兼事務所は、旧甲州街道の南の県道に北 面して建つ、木造2階建て切妻造り平入りで、東に土間を取り、西寄りの床上部は北から西に縁を廻ら す。樽貯蔵庫は主屋の東に建つ。桁行13mの南北に長い土蔵造り2階建て。主屋兼事務所と並び良質な 景観を形成。	建築物	産業2次	1
83	勝沼醸造樽貯蔵庫		S24頃/H12改修		建築物	産業2次	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準	
84	くらむぼんワイン旧主屋	山梨県甲州市	M後期/T9移築	甲州市勝沼町に位置する大正2年創業のワイン醸造所。旧主屋は敷地中央に南面して建つ、木造2階建て切妻造りで、中央に越(こし)屋根を載せる。一階南西隅の座敷には床、棚、付書院を置く。養蚕業の傍らワイン醸造を開始した旧家の主屋。現在は展示スペースや売店として活用。ワインセラーは旧主屋の北に東面して建ち、木造2階建ての上屋と地下室からなる。地下室は元ブドウ冷蔵庫で、現在はワインの熟成庫として使用。	建築物	住宅	1
85	くらむぼんワインワインセラー		M後期/S前期増築、同48改修		建築物	住宅	3
86	小坂家住宅主屋	長野県長野市	E末期	長野市の千曲川(ちくまがわ)左岸に位置する、江戸時代に名主を務めた農家。敷地の中央に南面して建つ茅葺きの主屋は、座敷の造作も良好に保存し、北信地方民家の特徴を示す大型住宅。敷地南西隅に米蔵が建ち、敷地北東隅に西から裏倉庫、農機具庫が裏門を挟んで建つ。東側の前面道路に沿って、北東隅の農機具庫に続き南に向かって長屋門と味噌蔵が並び建つ。裏倉庫から米蔵の間には北面と西面の敷地境界に沿って、土塀が矩折(かねお)れに廻る。いずれも保存状態は良く、豪農の屋敷構えを今に伝える。	建築物	住宅	1
87	小坂家住宅米蔵		安政2(1855)		建築物	住宅	1
88	小坂家住宅裏倉庫		M後期		建築物	住宅	1
89	小坂家住宅農機具庫		M後期		建築物	住宅	1
90	小坂家住宅味噌蔵		M前期/H18改修		建築物	住宅	1
91	小坂家住宅長屋門		M前期		建築物	住宅	1
92	小坂家住宅裏門		M後期		その他 工作物	住宅	1
93	小坂家住宅土塀		M後期		その他 工作物	住宅	1
94	光林寺経蔵	長野県長野市	慶応元(1865)/S40改修	光林寺は高台に境内を占める浄土宗寺院。慶応元年(1865)建立の経蔵は、境内南寄りに北面して建つ土蔵造りで、屋根は宝形(ほうぎょう)造り鉄板葺き、正面入口と側面の窓に花頭(かとう)枿をつくる。内部には明治13年製の八角輪蔵(りんぞう)を納める。天保元年(1830)建立の鐘楼は、境内北東隅に建つ入母屋造り棧瓦葺きで、禅宗様を基調とし、随所を力強い彫刻で飾る、境内のシンボルとなる鐘楼。文政9年(1826)建立の山門は、境内東辺中ほどの入口に東面して構える薬医門で、随所を飾る華やかな彫刻や絵様は見応えがある。	建築物	宗教	1
95	光林寺鐘楼		天保元(1830)		その他 工作物	宗教	1
96	光林寺山門		文政9(1826)		その他 工作物	宗教	2
97	旧片山家住宅主屋(小内(おうち)八幡神社社務所)	長野県中野市	M前期/S前期増築	中野市市街地西方の小内八幡神社境内にあり、同社神主片山家の住宅として建てた。木造2階建て茅葺き金属板葺きで、霊壇(れいだん)の間と呼ぶ潔斎(けっさい)の場を持つなど、農家住宅とは異なる社家住宅の様相を伝える。	建築物	宗教	2
98	旧平林家住宅(一星(いちぼし)亭)主屋	長野県生坂(い くさか)村	E後期/M前期増築	平林家は近世に庄屋を務めた農家。主屋は敷地中央に南面して建つ、木造2階建てで、当地で盛行した煙草生産の名残りを留める大型民家。主屋北側背面に東土蔵と西土蔵が並び建つ。東土蔵は天保11年(1840)の建築で、掛け子塗りの土戸など丁寧な左官仕事でつくる。西土蔵は安政3年(1856)の建築で、規模が大きく、東土蔵とともに重厚な街路景観を形成。安政6年(1859)建築の南土蔵は、主屋南西側に建ち、主屋とともに往時の屋敷構えを伝える幕末の土蔵。物置は敷地東側北端に建つ、木造平屋建て切妻造り棧瓦葺きで、村道に面する東面の南寄りに出入口を設ける。南門は、主屋南東隅から東に延びる間口4間の門で、主屋東側の庭へ通じる。現在は生坂村の所有で、今後の活用を検討中。	建築物	住宅	1
99	旧平林家住宅(一星亭)東土蔵		天保11(1840)		建築物	住宅	1
100	旧平林家住宅(一星亭)西土蔵		安政3(1856)		建築物	住宅	1
101	旧平林家住宅(一星亭)南土蔵		安政6(1859)/H20代改修		建築物	住宅	1
102	旧平林家住宅(一星亭)物置		S前期		建築物	住宅	1
103	旧平林家住宅(一星亭)南門		E後期		その他 工作物	住宅	1
104	塩屋(えんや)家住宅主屋		岐阜県飛騨市		M前期	塩屋家は近世に名主、明治期に村長を務めた。主屋は、往還の分岐点に東面して建つ。土間に長大な梁を架すなど内外とも飛騨地方の伝統形式をよく示す大規模民家。土蔵は主屋東側に建つ、土蔵造り2階建ての家財蔵で、旧道の三叉路(さんさろ)沿いに建ち、集落景観に寄与する。	建築物
105	塩屋家住宅土蔵	M前期/S30頃移築		建築物	住宅		1

	名 称	所在地	建設年代	特徴など	種 別	基準
106	大福寺庫裏	静岡県浜松市	T後期/S20代移築	愛知県豊橋市の製糸工場の事務所兼迎賓館を移築し庫裏としたもの。建ちの高い2階建てで、土間や根太天井などに民家の特性を示し、大正期の製糸工場的一端を伝える近代和風建築。	建築物 宗教	1
107	旧小松宮(こまつのみや)別邸桜御殿	静岡県三島市	M25	明治25年建築の桜御殿は、敷地北側の高台に建つ。南の小浜池(こはまいけ)や北西の富士山側を開放的にして眺望を確保する。主座敷の床柱を皮付き丸太や磨き丸太の桜木とするなど独創性も交えた元小松宮彰仁(あきひと)親王の別邸。敷地中心部の「楽寿園」は国指定の名勝・天然記念物で、公開している。他に、三島市指定文化財の楽寿館と既に登録されている梅御殿も公開部分に建つ。	建築物 住宅	2
108	旧東郷家別邸(伊東東郷記念館)	静岡県伊東市	S4/S7増築	かつて海を望んだ敷地に、東郷平八郎が夫人の療養のために建てた別邸。木造平屋建てで、南東の庭に面して座敷を配し、座敷飾にカエデなどの銘木を使い端正な意匠でまとめる。保養地伊東の戦前の別邸として希少。	建築物 住宅	1
109	永住寺本堂	愛知県新城市	元禄10(1697)/享保2(1717)改修	新城市中心部に位置する曹洞宗寺院。元禄10年(1697)建立の本堂は、境内中央に南面して建つ、入母屋造り棧瓦葺きで、内陣前の2本の柱と来迎柱(らいごうばしら)は円柱で他は角柱とする。広縁は元は縁と土間で書院に通じており、曹洞宗本堂の特徴を示す。本堂の北側背面に続く切妻造りの南北棟に開山堂と位牌堂を収める。書院は本堂の東に接続し、中庭や廊下などを介して南の庫裡へ続く。庫裡及び書院は、曹洞宗伽藍(がらん)を特徴づける大規模な建物。禅堂は本堂南西に東面して建つ切妻造りで、正面に切妻向拝を付す。衆寮は本堂の南西に東面して建ち、南の禅堂との間に一段低く屋根を架ける。禅宗伽藍を構成する特徴的な建物。経蔵は、境内の北東、書院北方に南面して建つ、方10尺規模の土蔵造りで、屋根は宝形造り。伽藍を構成する小規模な建物。	建築物 宗教	2
110	永住寺開山堂及び位牌堂		M26		建築物 宗教	2
111	永住寺庫裡及び書院		文化7(1810)		建築物 宗教	2
112	永住寺禅堂		享保7(1722)		建築物 宗教	2
113	永住寺衆寮(しゅりょう)		享保7(1722)		建築物 宗教	1
114	永住寺経蔵		E末期		建築物 宗教	1
115	白木屋(しろきや)醤油店主屋	滋賀県長浜市	E末期	旧北国街道木之本宿にあり、街道に西面して建つ。木造二階建平入で当地区では標準的な規模の町家で、木之本宿において旧街道沿いの歴史的景観を形成。	建築物 産業2次	1
116	旧四居(よつゐ)家住宅主屋	滋賀県長浜市	E中期/H21改修	長浜市街にある油商を営んだ商家の主屋である。木造平屋建てで通りに西面する比較的大規模な町家で、切妻屋根の両妻面に卯建(うだつ)を上げる。建ちが低く、主要な柱を通し柱とし、差物(さしもの)の成(せい)が低いなど古い形式を見せる。	建築物 住宅	2
117	旧常喜(じょうき)医院主屋	滋賀県米原市	M37/T14頃・S5頃増築	常喜家は、米原市南部の農村集落で代々医者を務めた。主屋は敷地中央に南面して建つ。一階南側に張出した玄関回りに医院機能をまとめ、北側と二階を住居とする。書院は主屋の西側に建ち、北側の廊下を介して主屋と繋ぐ。入母屋造り棧瓦葺きの周囲に下屋を廻らし、南面と東面の下屋は畳廊下とする。東蔵は、主屋の北東に南面して建つ、土蔵造り2階建て、西蔵は、主屋の北側に東面して建つ、土蔵造り2階建てで、ともに背面の屋敷構えを整える。馬小屋は敷地の南東に西面して建つ、木造平屋建て、切妻造り棧瓦葺き平入りで、出入口は馬に配慮してか、吊り戸とし敷居は設けず、内法高(うちのりだか)も高い。旧常喜医院は、長年地域医療を担い続けた地方医院の様相を伝える。	建築物 文化福祉	2
118	旧常喜医院書院		S5頃		建築物 文化福祉	1
119	旧常喜医院東蔵(ひがしのくら)		T4/S前期移築		建築物 文化福祉	1
120	旧常喜医院西蔵(にしのくら)		M後期		建築物 文化福祉	1
121	旧常喜医院馬小屋		T後期		建築物 文化福祉	1
122	蓮乗寺本堂	京都府南丹市	寛政11(1799)/S30代・H28改修	美山町西部にある日蓮宗寺院。敷地中央に南面して建つ入母屋造りの本堂は、西を仏堂、東を庫裏とし、仏堂は六間取りの方丈形式で、奥側中央の仏間奥には位牌堂が突出する。番神堂は境内南西に北面して建つ、入母屋造り棧瓦葺きで、正側面に縁を廻し、正面一間向拝付き。内陣中央に来迎壁(らいごうへき)と須弥壇を置き、背後に五連の神棚を並べ、番神信仰の有様を物語る。鐘楼は境内南東に北面して建つ、切妻造り棧瓦葺きで、簡素ながら山門と並び建ち、境内の表構えを引き締める。山門は、敷地南側中央東寄りに南面して建つ、切妻造り棧瓦葺きの薬医門で、境内の表構えを形成。	建築物 宗教	1
123	蓮乗寺番神堂(ばんじんどう)		文政11(1828)		建築物 宗教	1
124	蓮乗寺鐘楼		E末期		その他 宗教	1
125	蓮乗寺山門		E末期		その他 工作物 宗教	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準	
126	針中野中野鍼鍼の処(はりのところ)	大阪府大阪市	E末期/M43・H15改修	大阪市針中野に位置する鍼灸院(しんきゅういん)。鍼の処は、敷地北西に北面して建ち、屋根は大和棟(やまとむね)風で、正面と背面に下屋を付す。旧応接処は、鍼の処の南西に接続し東面して建つ、元賓客用施設。木造一部土蔵造り2階建て、本瓦葺きで、東面北側に入母屋の玄関を付す。主屋は敷地北辺中央に北面して建つ、入母屋造り棧瓦葺きで、外壁は軒裏まで漆喰で塗り込めて虫籠窓(むしこまど)を穿つ。病室用の新館は床を設けた上質なつくりとし、屋敷構えの中核を成す。敷地の南側、前面道路に沿って、中央に文書蔵、その東に物置蔵が並ぶ。文書蔵は土蔵造り2階建て棧瓦葺き、物置蔵は土蔵造り2階建て金属板葺きで、表門回りの景観を重厚に演出する。表門は、旧応接処と文書蔵の間に南面して建つ。高塀に切妻屋根が突出したような特異な形式の一間一戸、脇戸付きの門。歴史ある当院に相応しい堂々とした門。裏門は、敷地北東隅に北面して建ち、庭園に続く。表門に比肩する堂々としたつくり。	建築物	産業3次	1
127	針中野中野鍼旧応接処(おうせつしょ)		M35		建築物	産業3次	1
128	針中野中野鍼主屋		M43/S13頃増築		建築物	産業3次	1
129	針中野中野鍼文書蔵		M35/H7改修		建築物	産業3次	1
130	針中野中野鍼物置蔵		M43/H7改修		建築物	産業3次	1
131	針中野中野鍼表門		M35		その他 工作物	産業3次	2
132	針中野中野鍼裏門	S13頃	その他 工作物	産業3次	1		
133	山本家住宅主屋	大阪府吹田市	E後期/S6・H29改修	吹田市の中央に位置する肝煎(きもいり)を務めた農家。主屋は入母屋造り茅葺き銅板仮葺きで棟を瓦葺きとし、正面中央に式台玄関を設け、四周に下屋を廻す。主座敷には床を設け、天井を簀(す)の子天井とする。屋敷構えの中核を成す。東土蔵は、敷地東側北寄りに西面して建つ。置屋根形式の土蔵造り2階建て、棧瓦葺きで、敷地北東の屋敷景観の一角を成す。北土蔵及び表門は、敷地北側の通路に沿って建ち、西側の北土蔵と東側の門からなる。北土蔵は土蔵造り平屋建て棧瓦葺きで、入母屋造り棧瓦葺きの門とともに、豪壮な表構えを形成する。	建築物	住宅	1
134	山本家住宅東土蔵		T12/S47頃改修		建築物	住宅	1
135	山本家住宅北土蔵及び表門		T後期		建築物	住宅	1
136	松宮(まつみや)家住宅主屋	大阪府枚方市	寛保4(1744)/M前期・S30頃・同35頃改修	松宮家は枚方市東部に位置する農家。寛保4年(1744)年建築の主屋は、敷地中央に南面して建ち、東側が入母屋造り、西側が大和棟で、四周に下屋を廻し、主座敷に床、仏壇を置く。18世紀中期に建てた屋敷構えの中核をなす建物。西蔵(にしのか)は、敷地北西に南面して建つ諸道具を収蔵する蔵。土蔵造り2階建て、置屋根形式の棧瓦葺きで、南面東寄りに下屋を付す。米蔵は、西蔵の東に南面して建つ。土蔵造り2階建て、置屋根形式の棧瓦葺きで、正面に下屋を付す。西蔵とともに北側の街路景観を重厚に整える。表門は、敷地南西に南面して建つ長屋門形式の門。西側入母屋造り棧瓦葺きで、東に一間一戸、潜戸付き門扉を開き、小規模ながら丁寧なつくりで、旧家の表構えを演出する。	建築物	住宅	1
137	松宮家住宅西蔵(にしのか)		M中期/S44改修		建築物	住宅	1
138	松宮家住宅米蔵		M前期/S47改修		建築物	住宅	1
139	松宮家住宅表門		T前期		その他 工作物	住宅	1
140	コウノトリ保護増殖センター第一フライングケージ	兵庫県豊岡市	S40/H30改修	コウノトリ保護増殖センター敷地最奥の谷筋に建つコウノトリの飼育ケージ。コウノトリ保護、増殖の先駆的試みを示す記念的建造物で、飼育ケージ発展の起点となる貴重なもの。	その他 工作物	文化福祉	2
141	旧高碕(たかさき)家住宅主屋(高碕記念館)	兵庫県宝塚市	T12頃/S8頃・同13頃・同37・H2改修	阪急雲雀丘(ひばりがおか)花屋敷駅北側の住宅地にあり、道路に西面して建つ。ダッチコロニアル風腰折れ屋根で、外壁はドイツ壁風の仕上げ、内部は中廊下式の平面。ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計で、地域のランドマーク的存在。数度の増改築を経て、平成2年に当初図面を基に外観などの復原修理を実施し、現在は記念館として活用。	建築物	住宅	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準	
142	黒田清右衛門(せいいうえもん)商店 店舗兼主屋	兵庫県三木市	E末期/S前期改修	三木市中心部に位置する黒田家は、代々金物問屋を営む商家。街路に北面して建つ店舗兼主屋は、本瓦葺きの屋根の正面側を途中から一段下げ、下屋とともに軒を三段に見せ、下屋の屋根中央に大鋸(おが)の看板を据える。座敷棟は主屋南西に斜めに取り付く。主座敷には床、棚、書院を備えるなど、上質な商家の接客座敷。敷地奥側には主屋南面東端に取り付く味噌蔵、桁行10.9mの東蔵、南東隅の東南隅蔵、桁行9.0mの南蔵、南西隅の大規模な西南隅蔵、桁行18.3mと長大な西蔵が、敷地境界に沿って連続して建ち、商品、家財、文書などを収める。離れは、敷地西側北寄りに建ち、切妻造り2階建ての接客棟と南に平屋建ての書齋が付く。西蔵とともに敷地西側を構成する。内蔵は、敷地の北西隅、離れの北に並ぶ土蔵造りの商品蔵で、現在は家財と文書を取める。外堀は敷地北辺、店舗と内蔵の間を塞ぐ土堀で、店舗兼主屋、内蔵とともに屋敷の表構えを整える。黒田清右衛門商店は、近世から近代にかけて整備した金物問屋の建物が良く残る。	建築物	産業2次	1
143	黒田清右衛門商店座敷棟		M後期		建築物	産業2次	2
144	黒田清右衛門商店味噌蔵		M中期		建築物	産業2次	1
145	黒田清右衛門商店東蔵		M前期		建築物	産業2次	1
146	黒田清右衛門商店東南隅蔵		M前期		建築物	産業2次	1
147	黒田清右衛門商店南蔵		M前期		建築物	産業2次	1
148	黒田清右衛門商店西南隅蔵		M前期		建築物	産業2次	1
149	黒田清右衛門商店西蔵		M前期		建築物	産業2次	1
150	黒田清右衛門商店離れ		T後期/S2 頃増築		建築物	産業2次	2
151	黒田清右衛門商店内蔵		S2頃		建築物	産業2次	1
152	黒田清右衛門商店外堀		S2頃		その他 工作物	産業2次	1
153	田島漆店(たじまうるしてん)旧工場 玄関棟		和歌山県海南市		S28	田島漆店旧工場は、和歌山県海南市の漆器の産地である黒江に隣接する船尾地区に位置する。玄関棟は敷地西端南寄りに西面して建つ木造平屋建てで、正面外壁は腰をモルタル洗い出し仕上げ、他を色モルタル仕上げとし、小屋組は鉄骨トラス組とする。食堂は玄関棟に接続して東側に建つ木造平屋建てで、北側を床上部、南側を詰場へ続く通路の土間部とする。商品蔵は、玄関棟の南、敷地南西隅に北面して建つ、煉瓦造平屋建て、切妻造り棧瓦葺きで、出荷前の漆製品を保管した。新蔵は、敷地の北西隅に西面して建ち、土蔵造り2階建て、切妻造り棧瓦葺きで、小屋組はキングポストトラス組とし、生漆(きうるし)を保管した。詰場は、敷地南東隅に食堂に接続して建つ、煉瓦造平屋建て、切妻造りで、小屋組みは、山形鋼をリベット留した鉄骨トラス組とする。漆製造の基幹施設として漆工場の様相を伝える。当工場は、平成14年に閉鎖し、現在は、玄関棟をカフェ、新蔵を陶芸工房、詰場をイベントスペースなどに活用。	建築物
154	田島漆店旧工場食堂	S前期		建築物	産業2次		1
155	田島漆店旧工場商品蔵	T11/S28改修		建築物	産業2次		1
156	田島漆店旧工場新蔵	S9		建築物	産業2次		1
157	田島漆店旧工場詰場	S2/S33改修		建築物	産業2次		1
158	豊原(とよはら)家住宅主屋	和歌山県かつら ぎ町	E後期/H31改修	葛城山の山間集落に位置する農家。主屋は南斜面の狭隘(きょうあい)な敷地東側に南面して建つ、入母屋造り茅葺きで、床上部は整形四間取り。離座敷は、主屋の西隣に南面して建つ、木造平屋建て、入母屋造り棧瓦葺きで、四周に下屋を廻らし、主屋とともに集落の歴史的景観に寄与する。	建築物	住宅	1
159	豊原家住宅離座敷		S前期		建築物	住宅	1
160	的場(まとは)家住宅主屋	和歌山県かつら ぎ町	文化2(1805)/H18改修	的場家は江戸時代に村の主要な役目を担った農家。細長い敷地の中央に南西向きに建つ、文化2年(1805)建築の主屋は、入母屋造り茅葺きで、床上部は整形四間取りとする。部屋境は差鴨居を入れ柱を省略するが、三本溝の差鴨居など古式を見せる。建築年代が明らかで紀北地域の近世農家の指標となる。離れは、主屋の東南に隣接して建つ、木造2階建て、入母屋造り棧瓦葺きで、三方に下屋を廻らす。土蔵は、主屋の北西に南東を向いて建つ。北東の土蔵部は土蔵造2階建て、切妻造り平入りで正面に下屋を下す。南西の居室部は木造平屋建て、入母屋造り棧瓦葺き。主屋、離れとともに集落の歴史的景観に寄与する。	建築物	住宅	2
161	的場家住宅離れ		T後期/H18改修		建築物	住宅	1
162	的場家住宅土蔵		S31		建築物	住宅	1
163	神野(こうの)阿弥陀堂	和歌山県かつら ぎ町	貞享3(1686)/H4改修	葛城山山間の神野集落北側に南面して建つ仏堂。寄棟造り平入り茅葺き金属板仮葺きの三間堂。身舎柱はケヤキ材の円柱で、側柱はクリの大面取り角柱である。紀北地域の村堂の事例として貴重。	建築物	宗教	1

	名 称	所在地	建設年代	特徴など	種 別		基準	
164	南方熊楠(みなかたくまぐす)記念館本館	和歌山県白浜町	S40/H29改修	番所山の最高地点に建つ鉄筋コンクリート造2階建ての記念館。正面2階は腕木を手前に張り出し、丸みを帯びたコンクリート研(はつ)り仕上の量感のある庇(ひさし)で特徴的な立面をつくる。	建築物	文化福祉	2	
165	旧神田(かんだ)家別邸(稲村(とうそん)亭)	和歌山県串本町	M7	紀伊半島南端の串本町を代表する商家、神田家は鯨漁などの事業を営んだ。旧神田家別邸は明治7年の建築で、敷地中央に南面して建つ農家型の平面で、棧瓦葺きの大屋根を載せる。目の詰んだ柱目(まさめ)のスギ材を用いて造作し、端正な造りで上質である。現在は、飲食店、宿泊施設として活用。	建築物	住宅	2	
166	賀茂神社本殿	鳥取県倉吉市	E末期/H15改修	賀茂神社本殿は、倉吉市街地南方の丘陵に西面して建つ。正面一間、背面二間、側面二間、入母屋造り妻入り、銅板葺きで、虹梁上部の龍など、各所を精緻な彫刻で華やかに飾る優美な社殿。	建築物	宗教	1	
167	旧富士市橋(ふじいちはし)家住宅主屋	鳥取県湯梨浜町	T10/H27改修	湯梨浜町中部の農村地帯に位置する、元地主の住宅。主屋は敷地中央に北面して建ち、入母屋造りの屋根に赤色の棧瓦を葺き、吟味された木材を使用した客間を設ける。狭い土間など、近代的な発展を見せる農家住宅。	建築物	住宅	1	
168	鳥根県庁舎本庁舎	鳥根県松江市	S34/H14・同26改修	松江城三の丸跡地に位置し、昭和34年に建築した県庁舎の本庁舎と議事堂。昭和31年の「官公庁施設の建設等に関する法律」の改正により、国の地方自治体庁舎設計受託が可能になった。鳥根県庁舎はその第1号として、建設省営繕局所属で鳥根県出身の安田臣(かたし)建設専門官が設計を担当。本庁舎は、鉄筋コンクリート造で、1階をピロティとし、中庭を設けて執務室などを南向きに配する。外観は柱梁を現して窓開口を広くとり、各階に白い庇を廻らす。議事堂は、鉄筋コンクリート造で、議場を二階中央に配し、天井を高くとる。庇で水平線を強調し、2階バルコニー中央に縦ルーバーを入れ正面を構成する。本庁舎、議事堂ともにモダニズム建築の好例。	建築物	官公庁舎	2	
169	鳥根県庁舎議事堂		S34/H26改修		建築物	官公庁舎	2	
170	旧鳥根県立博物館(鳥根県庁第三分庁舎)	鳥根県松江市	S33/H25改修	昭和33年に松江城の南側に建てた、鉄筋コンクリート造の旧博物館。張り出した箱状の3階を3列の柱で持上げ、1、2階はベランダや吹き抜けで開放的とする。設計者菊竹清訓の作風がよく現れている。	建築物	文化福祉	2	
171	実際寺(じっさいじ)本堂	岡山県倉敷市	慶安2(1649)/M前期・S59改修	倉敷市街西方の旧中島村中心部にある真言宗寺院。平坦な集落の西に石垣で方形の寺地を築き、諸堂が建ち並ぶ。慶安2年(1649)建立の本堂は、入母屋造り本瓦葺き、正面三間、側面三間と小規模で、木鼻(きばな)や実肘木(さねひじき)の渦などに江戸前期らしい特徴を示す。客殿は境内中央、本堂の北東に建つ茅葺き金属板仮葺きで三方に本瓦葺きの下屋を廻す。本堂の南東に建つ鐘楼は、方一間で明治12年建立。敷地南東隅の納屋は本瓦葺きで、明治17年建立、袖堀付き薬医門の山門と並び建ち、境内導	建築物	宗教	2	
172	実際寺客殿		E末期		建築物	宗教	1	
173	実際寺鐘楼		M12/T15移築		その他	宗教	1	
174	実際寺納屋		M17頃		工作物	建築物	宗教	1
175	実際寺山門		M17		その他	宗教	1	
176	実際寺外堀及び石垣		M中期		工作物	その他	宗教	1
177	専教寺本堂	広島県安芸高田市	寛政6(1794)/T2・H6改修	専教寺は安芸高田市北東部に位置する浄土真宗本願寺派の寺院。寛政6年(1794)建立の本堂は、外陣正面柱間7間と大規模で、内部を円柱、側廻りを角柱とし、広い畳敷きの外陣、装飾的な内外陣境、内陣背後の後門など真宗本堂の典型的な平面で、江戸後期真宗本堂の好例。納骨堂は、境内北端に南面して建つ、正面三間、側面二間、宝形造り棧瓦葺きで、正面中央に両折棧唐戸(もろおりさんからと)と両脇に花頭窓を設け、彫刻欄間を嵌める。内部は畳敷の一室で、奥に仏像を安置し、均整のとれた外観である。大正3年建立の山門は本堂の正面に西面して建つ、切妻造り棧瓦葺きの四脚門で、虹梁、木鼻、大瓶束などを多彩な彫刻で飾るなど、境内の表構えを形成。	建築物	宗教	2	
178	専教寺納骨堂		S中期		建築物	宗教	1	
179	専教寺山門		T3		その他	宗教	1	

	名 称	所在地	建設年代	特徴など	種 別	基準	
180	中村家住宅主屋	徳島県三好市	M24	中村家は三好市池田町(いけだちょう)に位置し、池田で初めて刻み煙草工場を創業したと伝わる。主屋は中通りに南面して建つ、間口15.9mの木造2階建て、切妻造り棧瓦葺きで、両側に袖卯建(そでうだつ)を上げるなど、刻み煙草で栄えた池田の様相を伝える。刻み煙草工場は、敷地北端に南面して建つ。木造2階建て、切妻造り棧瓦葺きで、葉たばこの加工場に使用したと伝わる。	建築物	産業1次	1
181	中村家住宅刻み煙草工場		M中期		建築物	産業1次	1
182	中和(なかわ)商店事務所	徳島県三好市	T後期/S32改修	中和商店は三好市池田町に位置し、酒造業を営んでいる。事務所は杉尾通りに西面して建つ。事務所棟は木造2階建ての北に、平屋建ての南北棟が接続し、背面に住居棟が続く。外壁は正面1階をスクラッチタイル張り、他はモルタル刷毛引き仕上げとする。酒造蔵は、事務所の東側に建つ、木造2階建て、切妻造り棧瓦葺き。醸造業の基幹施設で、酒蔵の様相を伝える。仕込蔵は敷地北端に建ち、南面西半が酒造蔵と接する。木造平屋建て、切妻造り棧瓦葺きで、小屋組は丸太を水平や斜めに組み、方杖(ほうづえ)で固めた独特なもので、大空間を造りだす。杜氏宿舎は敷地東端に建ち、西面南半が酒造蔵と接する。木造2階建て、切妻造り棧瓦葺き。煙突は酒造蔵の東側に建つ、酒造蔵に附属する煙突で、釜場の蒸気を排出する。周囲から良く見え、地区のランドマークとなる。	建築物	産業2次	1
183	中和商店酒造蔵		T15頃		建築物	産業2次	1
184	中和商店仕込蔵		M中期		建築物	産業2次	1
185	中和商店杜氏(とうじ)宿舎		T15頃		建築物	産業2次	1
186	中和商店煙突		T15頃		その他 工作物	産業2次	1
187	本堯(ほんぎょう)寺松平頼該(よりかね)霊廟	香川県高松市	M元/M42改修	高松藩松平家一門の頼該を祀る霊廟(れいびょう)建築。一間四方、宝形屋根の奥殿と4畳の拝殿を2畳の相の間で繋ぐ。複合社殿形式の武家廟所の遺例として希少である。	建築物	宗教	2
188	小烏(こがらす)神社本殿	福岡県福岡市	S4	福岡市天神近郊住宅地の丘陵にある神社。昭和4年に氏子の寄進により境内全体の整備をおこなった。本殿は境内後方の高台に建つ。三間社流(さんげんしゃながれ)造り銅板葺きで、四方に高欄(こうらん)付き切れ目縁を廻し、向拝廻りに浜床(はまゆか)を広くとる。全体に装飾を抑えた、端正な意匠の本殿。拝殿及び渡殿は、本殿正面に接続し、南面して建つ。拝殿は入母屋造り銅板葺き平入り、渡殿は銅板葺きとする。簡素な中にも質の高い建物。神饌所は拝殿脇に渡り廊下を介して接続する、桁行三間、梁間二間、切妻造り棧瓦葺きで、小規模ながら凝ったつくり。天満宮は、本殿の西、境内の隅に位置する、一間社流造り銅板葺きで、浜床を付け、ヒノキの良材を用いた造作が丁寧な社殿。手水舎は拝殿に通じる参道脇に位置し、切妻造り銅板葺き、角柱4本を内転びに立て、中央に昭和4年銘の手水鉢を置く。瑞垣は渡殿に接続し、本殿を中心に一辺30尺の透塀(すきべい)で囲む。奉献塔は、拝殿脇に立つ高さ6mの石塔。	建築物	宗教	2
189	小烏神社拝殿及び渡殿(わたりでん)		S4		建築物	宗教	2
190	小烏神社神饌所(しんせんしょ)		S4		建築物	宗教	2
191	小烏神社天満宮		S4		建築物	宗教	2
192	小烏神社手水舎(てみずしゃ)		S4		建築物	宗教	2
193	小烏神社瑞垣(みずがき)		S4		その他 工作物	宗教	2
194	小烏神社奉献塔(ほうけんとう)		S4		その他 工作物	宗教	1
195	日本福音ルーテル熊本教会	熊本県熊本市	S25/H17改修	熊本市中心部にある教会堂。木造2階一部3階建て、切妻造り金属板葺きで、南東角に塔を配する。2階は主廊部の南側にのみ側廊が付く礼拝堂で、ハンマービーム・トラスを現し、塔や礼拝堂の開口は尖頭アーチで統一する。ヴォーリズの晩年の作品の一つ。	建築物	宗教	2
196	江藤家住宅主屋	熊本県大津町	E末期	大津町の農村集落にある、在御家人という家格を持つ農家。主屋は敷地中央に南面して建つ、木造平屋建てで、2棟突出する角屋(つのや)の間を合いの間で繋ぐ平面形状に特徴があり、当地区の近世農家の様相を伝える。	建築物	住宅	2

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物は其他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。